

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 423 事業名 新興感染症等検査体制強化事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		衛生研究所費
	大事業		衛生研究所事業
事項		新興感染症等検査体制強化事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	2	衛生研究所機能の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間			～
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴 (453-0055)	
関連課	総務企画課、生活保健課、保健対策課等		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」	「基盤力を磨く」	「観光力を磨く」	
コミュニティの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実	該当せず
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実	
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実	
その他	その他	その他	

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
高度化、多様化する病原微生物による健康危機管理事象に対応するため、最新検査法の導入に努め、調査研究により技術力を高め、検査体制の強化を図る。 また、エイズ等感染症を早期に探知し、感染の拡大、蔓延を防止する。	食中毒、感染症、有症苦情が発生した場合、行政依頼に基づき下記の検査を実施し、発生原因を究明し、感染拡大防止のために疫学解析を行う。 ○患者及び患者接触者、調理従事者等検体（糞便、血液、吐物など）、食品、水、包装容器、調理器具、施設等に対する細菌及びウイルス検査 ・細菌、ウイルス培養及び性状確認検査による病原微生物検出 ・リアルタイムPCR法、LAMP法等の遺伝子検査による病原微生物検出 ○検出微生物について、DNAシークエンソ装置、パルスフィールドゲル電気泳動装置等による遺伝子解析検査 保健所依頼によるHIV-1、HIV-2両タイプの抗体検査（スクリーニング検査及び確認検査） 新興感染症等に対応するための最新検査法導入、技術検討 検出菌及び病原微生物の遺伝子解析に係る調査研究				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	新型（鳥）インフルエンザの遺伝子検査体制準備、麻疹の遺伝子検査体制準備 市内で発生した食中毒、感染症、苦情における被害拡大防止と原因究明のための病原体検出及び遺伝子検査等実施、HIV抗体検査（スクリーニング検査、確認検査）	麻疹疑い全数遺伝子検査 市内で発生した食中毒、感染症、苦情における被害拡大防止と原因究明のための病原体検出及び遺伝子検査等実施、HIV抗体検査（スクリーニング検査、確認検査）	麻疹疑い全数遺伝子検査 市内で発生した食中毒、感染症、苦情における被害拡大防止と原因究明のための病原体検出及び遺伝子検査等実施、HIV抗体検査（スクリーニング検査、確認検査）		

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	17,419	26,362	8,498	8,622	6,391	6,511	5,199		5,199	
伸び率 (%)	-	-	-51.2%		-24.8%		-18.7%		0.0%	
人件費	常勤職員	18,897	29,890	15,118	17,570	17,570	15,477	15,477	15,477	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	18,897	29,890	15,118	17,570	17,570	15,477	15,477	15,477	15,477	
国庫支出金	4,515	13,326	656	656	656	2,065	2,599		2,599	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	12,904	13,036	7,842	7,966	5,735	4,446	2,600		2,600	
所要人数	常勤職員	2.47	3.9	1.97	2.33	2.33	2.05	2.05	2.05	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	検査実施項目数（新興感染症等検査）				年度目標値				
					実績値	3,342	2,468	2,624	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	衛生研究所における検査可能項目数（新興感染症等検査）				年度目標値	88	89	90	91
					実績値	88	89	90	
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度目標値				
				実績値					
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	最近十数年間でノロウイルス、SARSウイルス、炭疽菌、ウエストナイルウイルスなど健康危機管理対策の必要なテロや輸入感染症に対する検査体制の整備を実施してきている。特にノロウイルス等による食中毒及び感染症発生件数は非常に増加していることや麻疹ウイルスの遺伝子確認検査を開始する等、被害拡大防止及び原因究明のための検査需要は益々増加していくものと予想されるため、更なる体制強化が必要である。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	